

平成24年度私立学校初任者研修 全国研修会（西日本）実施報告

本年度の初任者研修全国研修会（西日本）が、10月19日（金）から20日（土）の1泊2日の日程で兵庫県私学会館（神戸市）で開催され、51名の初任者教員が受講した。

初日は、日本航空客室乗務員の経歴を持つ（株）ミズ・インターナショナル代表、水元澄子氏を講師に迎えて、講義と実習を行った。テーマは「企業から学ぶ—ビジネスマナー入門—」で、名刺交換やお辞儀の仕方など、具体的な実習が行われた。



夕食後は、少人数のグループに分かれての討議が行われた。各学校での生徒指導上の悩みや、授業の進め方などを、熱心に議論していた。

研修2日目は、午前中に2本の講演と実習が行われた。一つは、同志社大学文学部教授の鈴木直人氏による「児童・生徒の現状を心理学から考える」。もう一つは、群馬パース大学講師の原芳典氏による「学校教育相談入門」で、それぞれ、生徒と教師の関わり、生徒同士の人間関係、揺れ動く思春期の複雑な心理を、教師はどう理解し指導していくか、教師に課せられた非常に重い課題を、実践的な話題を含めて示唆された。

午後からは、元向上学園理事長、清水秀樹氏の「明日から役立つ生徒指導」について、問題行動を起こす生徒への対応は、いつの時代でも教師達を悩まし続ける。そんな教育現場での実践的な事例への対応例を示された。

講義終了後の閉会式では、

修了証が授与され2日間の研修を終了した。

